

約3万年前にさかのぼる生活痕跡が確認された遺跡群

### 恩原遺跡群



写真:上斎原村史通史編より

指定区分	県指定史跡
読みかた	おんばらいせきぐん
所在地	鏡野町上斎原
指定年月日	平成22年3月12日
解説	恩原貯水池周辺に広がる旧石器時代の遺跡群である。火山灰層が良好に堆積しており、4つの文化層が確認された。出土した石器の変化や特徴から、旧石器時代人の生活の移り変わりや、中国・四国地方だけでなく東日本の一部までを含んだ人の移動が明らかになっている。
アクセス方法	
公開状況	自由
設備	
備考	

## きつずページ



写真:上斎原村史通史編より

していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	恩原遺跡群
よみかた	おんばらいせきぐん
しょざいち (所在地)	鏡野町上斎原
していたひ (指定した日)	平成22年3月12日
せつめい	旧石器(きゅうせっき)時代(じだい)から縄文(じょうもん)時代のころの遺跡群(いせきぐん)です。ここで発見(はっけん)された、石器をつくった場所(ばしょ)や、火をつかった場所などは、岡山県でも、もっとも古いころのものだと考(かんが)えられています。